



南スーダン

クリックするだけ、
1分で終わる簡単ステップ

「フェリシモ 地球村の基金」

投票で応援して、子どもたちが**学校へ行く**手助けをしてください！

「世界一新しい国」で深刻化する**人道危機**

日本では南スーダンのニュースがほとんどなくなりましたが、今も各地で戦闘は続き、避難民の数は増加の一途を辿っています。南スーダンに暮らす1,200万人のうち、1/3が避難民になっていると言われ、2013年から続く大規模な紛争により、多くの人々が困難な状況に置かれています。

難民キャンプで暮らす「**ストリートチルドレン**」

JVCが活動を実施するイーダ難民キャンプ。このキャンプでは、紛争によって両親と死別・離別し、市場で生活する「ストリートチルドレン」が学校に通えず、キャンプ内の市場を中心に廃品回収やモノ売りなどの児童労働を行いながら生活しています。犯罪に手を染める子どもも少なくありません。

子どもたちの**未来**を拓くため

学用品や衣料品の支援、カウンセリングやスポーツ活動を通じて、保護者のいない「ストリートチルドレン」が学校へ通学できるよう応援します。教育を受けることで、職を得るチャンスとなり、「仕事がないので兵士になる」というケースの予防にもつながります。



ストリートで食べ物を見つけるため、ごみを漁る子どもたち。

皆さまの投票数により、助成額が決まります。

ぜひ、投票で応援してください！

投票期限：**2018年11月15日(木)まで！**

- ①投票ページで、「No.4:難民キャンプのストリートチルドレンが学校に通えるように!」を選択して、ページ下部の「確認」ボタンをクリック
- ②確認ページで、「送信」ボタンをクリックで投票完了です。

応援投票ページURL

<https://ngo-jvc.info/felissimo2018>



JVC
Japan
International
Volunteer Center

難民キャンプのストリートチルドレンが学校に通えるように！

「なぜ、難民キャンプで教育が大切なのか？」

JVCが教育支援を行っている難民キャンプの元自治会長ヤグーブさんの言葉です。
「学校に行けない子どもはストリートに出て、あとは兵士になるのが目に見えている。学校に通わせれば、中には将来大統領になる人物だって出てくるかも知れないじゃないか。子どもたちの才能の芽を摘むようなことはしてはいけない」

内戦状態から抜け出し、平和を取り戻すためにも、**教育**は大きな意味を持っています。

この助成金によって、JVCは何ができるのか？

子どもが持つべき教育を受け、安全が守られる権利を手にすることができない「ストリートチルドレン」。この支援によって、子どもが安心して子どもらしく成長できる場所を得て、教育を受けることで、彼らは自分の手で未来を切り拓くことができるようになります。

プロジェクト内容

◎ 対象児童の選定

計30名(男子:20人、女子:10人)を対象者として、受け入れ小学校と家族を見つけます。

◎ **学用品・学費、昼食**などの支援、**給食調理場・教室の設置**

- (1)学用品、学費の支援を実施。スポーツ用品を提供、放課後に児童が活動する環境作りを行います。
- (2)給食調理場を設置し、登校日に昼食を提供します。

◎ **カウンセリング**と**家庭菜園学習**

- (1)任命されたカウンセラーが学校を巡回、子どもたちの観察を行いながら児童の相談に乗ります。
- (2)トタン屋根の仮設教室を設置し、週1回の授業の補習を行ない、運動場でスポーツ活動を行ないます。また石鹸の配布も行います。
- (3)家庭菜園で野菜作り、栄養について学ぶ機会を提供します。

◎ 受け入れ**小学校との連携**

小学校の校長に、「児童保護」担当教員の任命を要請、密に連絡を取りながら、児童のサポートを続けます。

◆実施場所：南スーダン共和国、ユニティ州、イーダ難民キャンプ

◆実施期間：2019年1月～2019年12月



「フェリシモ地球村の基金」

株式会社フェリシモの実施によるもので、毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で、「貧困からの自立」「自然災害からの救済」「復興の応援」など、世界各地で進められている活動を応援しています。

世界の課題やその解決のための活動に関心が高まることで、ひとりひとりが世界に向けて貢献するきっかけができるよう、**6つのプロジェクト**への投票を受け付けており、投票数が拠出金額の参考となります。